

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		市民文化センター改修事業						予算事業名		市民文化センター管理運営経費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	建築基準法施行令				
			10	05	07	0502	経常経費						
総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう						事業の区分	主要事業(6次総非掲載)					
	生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造												
	芸術文化を楽しむ機会の充実						担当課係等	生涯学習課 文化係					
事業期間		継続 (令和 5年度～令和 6年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
市民文化センターの利用者及び来館者の安全・安心を確保し、市民の文化芸術活動の拠点として活用するとともに、災害時の避難所としての機能を果たす。							市民文化センターの大・小ホールの特設天井が、東日本大震災後に改定された建築基準法に適合していない既存不適格の状態であり、県西県民センター建築指導課から改善が望ましいと勧告を受けた。						
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】						
天井脱落の危険性を排除し、安全性を確保及び老朽化した設備の機能強化を図るため、改修工事を実施する。 ・市民文化センター天井等改修工事							・市民文化センター(アクロス) ・市民文化センター利用者及び来館者						
							【事業をとりまく環境の変化】 東日本大震災時、市民文化センターの大・小ホールの吊り天井は、ほぼ無事であったが、東日本大震災以降、改正された建築基準法で天井脱落対策の規制が強化されたことにより、既存不適格となり、改築時等に落下防止措置を講ずるよう位置づけられた。						
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】					
・天井等改修工事(工事期間中は休館)				・天井等改修工事 (工事終了後リニューアルオープン)									

■事業費

		R03年度		R04年度				
財源内訳	国庫支出金	0	0					
	県支出金	0	0					
	地方債	0	0					
	その他	0	0					
	一般財源	0	0					
歳入計(千円)		0	0					
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)					
歳出計(千円)(A)		0	0					
伸び率(%)								
備考	総合計画 103ページ 予算書 ページ							
	備 大事業：市民文化センター改修事業費							

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	天井等改修工事の発注件数	件	目標	0.00	0.00	1.00
	R5、R6市民文化センター天井等改修工事		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	天井等の改修件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	市民の文化活動の拠点及び避難所として、安全安心な環境を維持する。		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	大、小ホール天井は、現行の建築基準法では不適合であり、利用者の安全確保を図るため、改修は急務である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	公共施設の整備は、市で行うべきである。
	手段の妥当性	A 妥当である	基本設計及び実施設計に基づき、最適な工法の選択及び事業費の削減に努め、改修を行う。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	多額の改修費を要するが、緊急防災・減災事業債が充当できるため、一般財源の負担を大幅に軽減できる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	数多くの市民が施設を利用することから、広く便益を提供するものである。
有効性	成果向上の余地		
進捗度	事業の進捗		
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
施設の改修については、緊急を要するものであり、計画的かつ効率的に実施していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
方向性の具体的内容	
アクロスは、年間、多くの市民が利用するとともに、災害時には避難所となるため、利用者の生命を守るためにも、天井等の改修は不可欠である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
□拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入）	
上記評価のとおり。	